

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【慈恩寺小学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<学習上の課題>算数「数と計算」の除法の理解や公約数の求め方において課題がみられる。 <指導上の課題>教師主導の時間から、児童が主体的に学ぶ時間を多くするための授業改善。 <学習上の課題>児童が自ら課題を設定し、課題解決へ向け主体的に活動する力を高める。 <指導上の課題>児童が主体的に活動するために、教員は何の力をつけるための学習かねらいを明確にし、学びを振り返る時間を設定し、自分にどんな力がついたのかを明らかにする。	プリントやドリルワーク等を活用し、「数と計算」における反復・習熟に取り組む【毎授業開始時に実施】。その際、自らの学びの状況や課題を振り返り、目標を確認する時間を設定する【毎授業時間に実施】。児童が自分で答え合わせができるようにする。 授業中に、児童が学びを振り返る時間を設定し、次の学びにいかせるようにする【毎授業時】。適切な課題を設定したり児童が主体的に課題を解決したりする時間を設定する【単元毎に児童が主体的に活動する時間を必ず設定】。
思考・判断・表現	<学習上の課題>「目的に応じて書くこと」において課題がみられる。 <指導上の課題>各学年にみられる課題の改善に向け、授業での学びのポイント(じ・し・や・く)の定着が課題である。	各教科の授業やじっくりタイムにおいて、「帯体と帯体に注意して書く。」や「具体的な事例を挙げて分かりやすく説明する文を書く。」や「自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。」等について、意図的に書く活動に取り組ませる。 【各教科の授業・じっくりタイム】 学びのポイント(じ・し・や・く)の「し」を意識した指導をする。また、学びの指標授業者チェックリスト項目「8」や「12」を中心に実践し、自己の授業を振り返る【各教科授業において単元毎に実施】。

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		結果提供(2月)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	調査の振り返り(4月) ①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告	
思考・判断・表現	結果提供(7月)	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し	
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能			
思考・判断・表現			

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)